

車との上手なつきあいかた 5

●快適ドライブのために……………	288
雨の日の快適ドライブ……………	288
夏の快適ドライブ……………	289
寒冷時の取り扱い……………	290
タイヤチェーンについて……………	294
●お手入れのしかた……………	295
外装のお手入れ……………	295
内装のお手入れ……………	298
その他のお手入れ……………	300
ワイパーの交換……………	302
タイヤの交換……………	303
タイヤ空気圧警報システム……………	306
●より良い環境のために……………	309
環境に配慮した省エネ運転をするために…	309
使用済み部品は適切に処理しましょう…	309

目次

△
警告走行
する
前に走行
する
とき室内
装
備
の
使
い
か
た車
と
の
上
手
な
つ
き
あ
い
か
た万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウィンドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口を ⌘ にして、吸い込み口は外気導入にします。冬でもエアコンを活用してください。

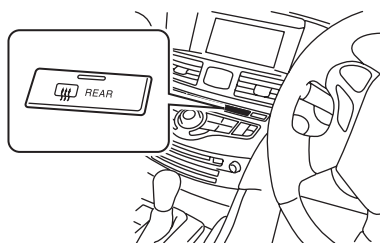
🔍窓ガラスのくもりの取りかた…
P.256

📖 知識

- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。
- 湿度制御機能(🔍P.251)をONにしておくと、自動的に窓ガラスのくもりを取ることができます。

リヤウィンドーガラス

リヤデフォッグスイッチ(🔍P.152)を使い、くもりを取ってください。



ZPA0502

■ガラスが油膜でガラガラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

🚗 アドバイス

- 油膜があると、ワイパー作動時に音がしたり、雨の夜などは対向車の光が乱反射することがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。(🔍P.302)

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

高水温警告灯が点灯した場合は、安全な場所に停車して冷やしてください。

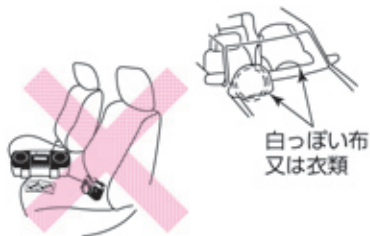
○オーバーヒートしたときは…P.317

🚗 アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



ZCE0312

⚠ 警告

- お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。
- また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

■海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

- サービスデータ（エンジンオイル）…P.342

■12Vバッテリー液の点検、補給

- メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
30%	約-15℃
50%	約-35℃

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

- サービスデータ（エンジン冷却水、インバーター冷却水）…P.343

アドバイス

- 寒冷地仕様車は、工場出荷時に50%にしています。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。（●P.303）
- タイヤチェーンはお客様のタイヤサイズに合った日産純正品をおすすめします。（●P.294）

■ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

- ウオッシャー液の補給…P.300

注意

- 外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用のワイパーブレードを装着するときは、お車に合った日産純正部品をお使いください。

注意

- 高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。

アドバイス

- 降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

■靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

■車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

■滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
🔍タイヤチェーンについて…P.294
- 雪道を走行するときは、ドライブモードをSNOWに切り替えます。
🔍ドライブモードセクター…P.169

■走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
効きが悪いときは、低速走行でブレーキを軽く踏み、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

- セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。
🔍ワイパーアームを起こすとき…P.152

雪道を走行したあとは

- 凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

目次

 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車との上手な
つきあいかた

万一のとき

サービスデータ

さくいん

タイヤチェーンについて

- タイヤチェーンは必ず後2輪に装着してください。
- お客様のタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
タイヤチェーンはお客様の車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

■装着の前に

- 安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- パーキングブレーキをかけハイブリッドシステムを停止します。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

⚠ 注意

- 不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- スペアタイヤにはタイヤチェーンを装着できません。後輪がパンクした場合は、スペアタイヤを前輪に取り付け、外した前輪を後輪に取り付けてから、チェーンを装着してください。
- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

お手入れのしかた

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。
 - ・ ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき。
 - ・ 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。
 - ・ ほこり、汚れがひどいとき。

🚗 アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

■水洗いするとき

- ① 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ② 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。
 - ・ 汚れがひどいときは、ボディシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③ はん点が残らないように水をふき取ります。

⚠ 注意

- 下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。

🚗 アドバイス

- 洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。ハイブリッドシステムの始動不良や不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面などを傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車との上手な
つきあいかた

万一のとき

サービスデータ

さくいん

■洗車機を使うとき

自動洗車機

ドアミラー（P.73）を格納してください。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。

アルミロードホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。

※詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - ・強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない。
 - ・洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する。（体温以下が目安）
 - ・洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す。
 - ・硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わない。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、又は水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

- ①塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ②塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- バックビューモニターカメラのレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷は、タッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。
日産純正タッチアップペイントをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあいかた

万一のとき

サービスデータ

さくいん

内装のお手入れ

⚠ 注意

- 車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。

カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

🔍フロアカーペット…P.285



TCA0145Z

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。

汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。



TCA0146Z

スエード調ルーフの汚れ取り★

スエード調ルーフ付車の天井、サンバイザー、ピラー部位は、次のように清掃してください。

■水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布でぬるま湯に浸し、固くしぼってから軽くたたくようにして汚れを取ります。

汚れを除去したあと、乾いた布で軽くたたくように水分を除去してください。

■油性の汚れを取るとき

ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れを取ります。

汚れを除去したあと、乾いた布で軽くたたくように水分を除去してください。

アドバイス

- 汚れた部分をこすらないでください。表皮が毛羽立ったり、汚れが広がるおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使わないでください。色落ちや、光沢がなくなるおそれがあります。

本革シートのお手入れ★

■通常のお手入れ

ガーゼなど柔らかい布でふきます。

■水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

■油性の汚れを取るとき

- ①ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
- ②真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
- ③乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 直射日光は変色、変質の原因になります。日よけに心がけてください。
- 水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

リヤウインドーの清掃

- ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

メーター表面の汚れ取り

柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

アドバイス

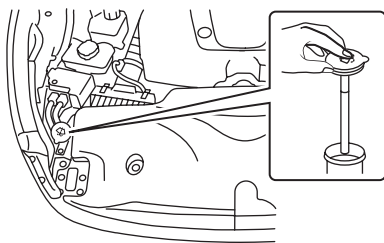
- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

その他のお手入れ

ウオッシャー液の補給

- ウオッシャー液が不足しているときは、ウオッシャータンクのキャップを外し、ウオッシャー液を補給してください。ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。
- ふたの穴を押さえ、引き抜くと、スポイト式にウオッシャー液の残量が点検できます。
引き抜いたときにウオッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウオッシャータンクはほぼ空の状態です。
日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

●ウオッシャータンク容量…P.343



ZSD0056

⚠ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ウォッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。
塗装面がしみになるおそれがあります。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車との上手な
つきあいかた

万一のとき

サービスデータ

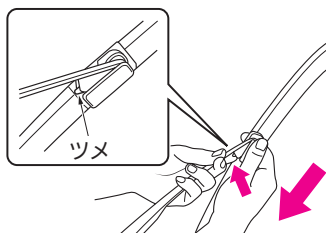
さくいん

ワイパーの交換

- ❶ ワイパーアームを起こすときや格納するときは、ワイパーアームを起こすとき…P.152をお読みください。

ワイパーブレードの交換

- ① ワイパーアームを起こします。
- ② ワイパーブレードを持ち上げ、ブレードを少し傾けます。
- ③ ブレードのツメを押しながらブレードを矢印の方向に引きます。



ESG0395Z

- ④ ブレードをアームから取り外します。
- ⑤ 新しいブレードを取り付けます。
取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ブレードが確実に固定されていることを確認します。

⚠ 注意

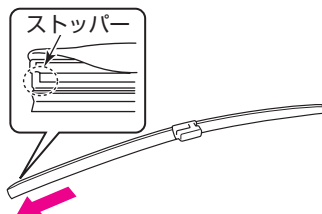
- 交換するときは、ワイパーアーム及びワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

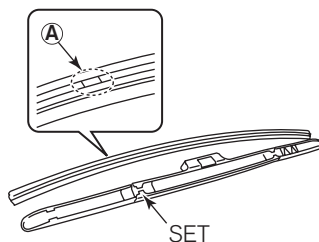
ワイパーゴムの交換

- ① ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。
- ② ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



ZSD0042

- ③ 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
 - ・ ワイパーゴムのストッパーがない側からブレードに沿って差し込みます。
 - ・ ワイパーゴムの④部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。



ZSD0003

📖 知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

タイヤの交換

⚠ 注意

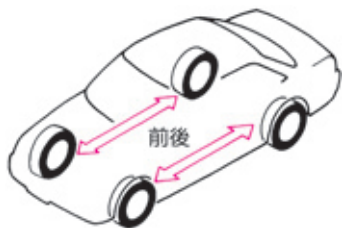
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

■ タイヤの位置交換（ローテーション）

左右それぞれで前後タイヤの交換を行ってください。

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために、約5,000km走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。

🔍 タイヤ交換のしかた…P.336



TSC1842Z

⚠ 注意

- タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損ねたり故障の原因になります。

🚗 アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

📖 知識

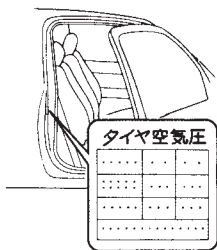
- 車載のジャッキを使って、タイヤの交換を行うときは、スペアタイヤを使って1輪ずつ交換してください。
- タイヤの位置交換をしたとき、タイヤ空気圧センサーのIDコードが交換した位置に自動的に切り替わる機能があります。
 - ・ タイヤの位置交換を行ったあと、25km/h以上で数分間走行すると、ナビゲーションシステムのタイヤ空気圧情報にタイヤの空気圧が表示されます。
 - ・ この機能を作動させるには、タイヤ空気圧センサーの専用IDコードを4輪セットで登録する必要があります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

■タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。

タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。扁平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。

- タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。



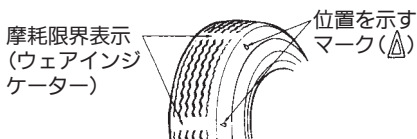
TCB0059Z

⚠ 注意

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤ摩耗の点検

- 摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。



TCD0071Z

■タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。

⚠ 注意

- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けしないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 径が異なるタイヤを装着すると、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。
 - ・ 摩耗差の大きいタイヤの装着
 - ・ 前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着
 - ・ サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- タイヤの交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは、巻末のサービスデータに記載してあります。

🚗 アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤ空気圧センサーが付いていないロードホイールを装着すると、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅後、点灯します。
元のタイヤ空気圧センサーが付いているロードホイールを取り付けたあと、約25km/h以上でしばらく走行するとタイヤ空気圧警告灯は消灯します。
- 新しいタイヤ空気圧センサーを取り付けた場合は、専用のIDコードを登録する必要があります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
🔍 タイヤ空気圧警報システム…P.306
- アルミロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車との上手な
つきあいかた

万のとき

サービスデータ

さくいん

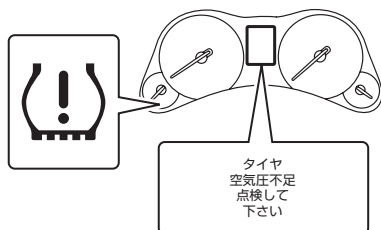
知識

- 夏用タイヤから冬用タイヤなど、タイヤを4輪セットで交換したとき、交換後のタイヤの空気圧を自動的に検出する機能があります。
 - ・ タイヤを交換したあと、25km/h以上で数分間走行すると、ナビゲーションシステムのタイヤ空気圧情報に交換したタイヤの空気圧が表示されます。
 - ・ この機能を作動させるには、タイヤ空気圧センサーの専用IDコードを4輪セットで登録する必要があります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
 - ・ 装着タイヤ以外にタイヤ空気圧センサーが付いたタイヤを積んでいると、正常に作動しないことがあります。

タイヤ空気圧警報システム

タイヤ空気圧警報システムは、タイヤ空気圧が不足していることを知らせるシステムです。

- タイヤ空気圧が指定の空気圧から約30%低下すると、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点灯し、車両情報ディスプレイに警告を表示します。



ZSD0055

● タイヤ空気圧警告灯…P.137

● タイヤ空気圧警告表示…P.111

- 空気圧を正しく調整したあと、25km/h以上でしばらく走行するとタイヤ空気圧警告灯と車両情報ディスプレイの警告表示が消灯します。
- 25km/h以上で走行したときに、作動します。
- システムに異常があるときは、タイヤ空気圧警告灯 (●P.137) が約1分間点滅したあとに点灯を続けます。

⚠ 注意

- タイヤ空気圧警告灯が点灯及び警告表示したときは、安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。放置して走行し続けると、タイヤがバースト（破裂）したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあとに点灯を続けたときは、日産販売会社で点検を受けてください。

🚗 アドバイス

- タイヤ空気圧警報システムは、日常点検を補助するものです。必ず日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤ空気圧センサーは、日本の電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - ・ 日本国内のみで使用する。
 - ・ 正しい使用方法以外では使用しない。
 - ・ 分解や改造はしない。（分解や改造したものを使用することは法律で禁止されています。）
- タイヤ空気圧センサーにはお客さまの車に適合する固有のIDコードが登録されています。他の車のタイヤ空気圧センサーを使用すると、システムが作動しません。
- タイヤを修理・交換するときはタイヤ空気圧センサーの取り付けやIDコードの登録をする必要があるため、日産販売会社へご相談ください。

🚗 アドバイス

- 以下の場合、タイヤ空気圧警報システムが正常に作動しない場合があります。
 - ・ タイヤチェーンを装着しているとき。
 - ・ 日産純正品以外のタイヤやロードホイールを使用したとき。
 - ・ 近くに同じような無線周波数を使っている施設や器具があるとき。
 - ・ 車両、特にロードホイールハウスの周りに多くの雪や氷などが付いたとき。
 - ・ タイヤ空気圧センサーのIDコードがシステムに登録されていないとき。
 - ・ タイヤ空気圧センサーの電池が消耗したとき。
- タイヤ空気圧センサーには、車両と通信するための電池が内蔵されています。走行中は、常時車両と通信しているため電池を消耗しており、電池が切れると、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅後、点灯します。電池が消耗したときは、日産販売会社にご相談ください。電池単品での交換はできません。
- 凹凸のある道路を走行するときは注意して走行してください。タイヤ空気圧センサーを破損させるおそれがあります。



知識

- 温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにもタイヤ空気圧警告灯が点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。
- 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。
- 一台の車両で2セット（1セット4輪）のIDコードを登録することができます。2セット目の登録については、日産販売会社にご相談ください。

より良い環境のために

環境に配慮した省エネ運転をするために

- **タイヤの空気圧を適正にしましょう**
定期的にタイヤ空気圧を点検し、適正值で走行すると、燃料を節約できます。
- **不要な荷物は降ろして走行しましょう**
重い荷物を降ろして走行すると、燃料を節約できます。
- **計画的なドライブをしましょう**
長い停車や加速・減速を繰り返すと、燃費の悪化につながります。事前に交通情報などを確認して渋滞を避けると、燃料と時間を節約できます。
- **急発進、急加速を控えましょう**
なめらかなアクセル操作をすると、燃料を節約できます。
- **一定速度で走行しましょう**
速度を抑え、一定の速度で走行すると、燃費が向上します。
※法定速度を守り、安全運転に心がけてください。
- **エアコンは控えめに使いましょう**
必要なとき以外はエアコンをOFFにすると、燃料を節約できます。

使用済み部品は適切に処理しましょう

使用済みのバッテリーやタイヤなどの部品を廃棄するときは、購入した販売店に処分を依頼してください。
エンジンオイルなどの廃液やエアコンの冷媒（エアコンガス）も必ず適切な処理をしてください。

目次

△
警告走行
する
前に走行
する
とき使
室
内
装
備
の
た
か
ら
の
損
害
を
防
ぐ
た
め
に車
と
の
上
手
な
つ
き
あ
い
か
た
な
こ
と万
一
の
と
きサ
ー
ビ
ス
デ
ー
タさ
く
い
ん

